

令和7年度 村山学園 児童・生徒の学力向上に向けた取組について

1 1単位時間の授業の流れを定型にします

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">①前の授業の復習テストや学習内容の振り返り②今日の学習内容について短時間で説明や指示③練習問題で学習内容の定着④今日の学習内容が身に付いたかをドリルなどで確認⑤宿題を出して、家庭学習で復習 |
|--|

※実技教科や道徳、外国語活動、総合的な学習、学級活動は原則として除く

2 宿題は毎日出します

- ・国語及び算数・数学では、宿題を毎日出します。
- ・宿題をしてこなかった児童・生徒は、必ずその日のうち（中休みや昼休み、放課後など）に行わせます。中学部では、宿題を提出してからでないと、部活動への参加はできません。

3 「読む、書く、計算」の技能を高めます

- ・読む…朝読書を効果的に実施します。また、学級文庫を全学級に置いたり、図書室を更に活用したりして、日常的に読書に親しむ時間を増やします。
- ・書く…毎日、日記を書きます。3行程度の短い文章を毎日書くことによって、語彙や表現力を高めます。
- ・計算…タブレット PC の学習アプリなどを活用して、計算問題に取り組む「量」を増やします。

4 新しく出てきた漢字を覚えます

- ・小学部では、漢字テストの前日までにプレテスト（宿題も含む）を行います。プレテストで間違えた漢字を確認し、書き取り練習をすることで覚え直しをします。2回目の漢字テストで、100点が取れるようにします。

5 国語辞典を活用して、語彙を増やします

- ・小学部4年生から6年生の各学級に国語辞典を学級の人数分置きます。調べたい言葉があるときには、すぐに調べることができるようにすることで語彙を増やします。

6 掛け算九九を覚えます

- ・2年生から6年生（中学部も推奨）は、帰りの会で掛け算の段を唱えてから、さようならの挨拶をします。 ※2年生は掛け算の学習をした後から実施します。
- ・3年生から6年生は、掛け算検定を行います。中学部では、1学期に掛け算テストを行います。

7 教員も指導力向上に向けて取り組みます

- ・指導教諭（高い専門性と優れた教科指導力をもつ教員で、教科等の指導技術を他校の教員に普及させる職務を担う教員）の模範授業を、年に1回以上参観して指導力を向上させます。
- ・東京都教育委員会が実施する教科等に関する研修を、年に1講座以上受講して専門性を高めます。

学習内容の定着には、家庭学習が欠かせません。小学部は学年×10分、中学部は学年＋1時間が標準と言われています。子供たちの可能性を伸ばすために、家庭での取組をお願いします。
